



＊旭日単光章「地方自治功労」
 元松前町議会議員 88歳 本村
 おかだ こういち
岡田 幸一さん

岡田幸一さんに旭日単光章
 高齢者叙勲

政府は1月1日付で、春秋叙勲によって勲章を授与されていない功労者に年齢88歳に達した機会に授与する「高齢者叙勲」を発表し、元町議会議員の岡田幸一さん＝本村＝が、地方自治功労で旭日単光章を受章しました。

岡田さんは、昭和46年に町議会議員に当選以来、議会の円滑な運営や住民の福祉向上のために尽力。平成16年9月から17年9月までは町議会議長に就任しました。

岡田さんは「町民の皆さんのご支援とご協力で無事、議員活動を勤め上げることが出来た上に、このような栄えある章をいただき、本当にありがたいです」と話していました。



④開票作業は生徒たちが行った ⑤入場券を渡して、投票用紙を受け取る ⑥実際の機材を用いて投票を行う



あま〜いニンジン、もらったよ
 大溝地区ほのぼの農園と小富士保育所園児が交流

大溝シニアクラブ・大溝健康サロン・ほのぼの農園は12月22日、小富士保育所園児と交流を行いました。

この交流は、食育と地域での交流を目的に、同団体が初めて実施したものです。当日は、前日の雨と一緒にニンジン収穫することはできませんでしたが、葉つきのニンジンを洗ったり、ニンジンの秘密を描いた紙芝居を読んだりして食の大切さを学び、交流を深めました。洗ったニンジン持ち帰った園児たちは「カレーにしよう」「私はシチュー」とほほ笑んでいました。

④スーパーとは違う姿のニンジンに興味津々 ⑤「ニンジンを使ったよ」



北伊予中学校で模擬選挙
 選挙啓発講座

県と町の選挙管理委員会は1月16日、北伊予中学校で、全校生徒205人を対象に選挙啓発講座を行いました。

この講座は、若年層の投票率が低迷していることを踏まえ、中学生に政治参加の意識を高め、選挙制度の仕組みを知ってもらおうと開催したものです。講座では、模擬選挙を実施。県と町の選挙管理委員会が立会いの下、入場券を持って投票所に入場した生徒たちは、事前に配布された選挙公報と、選管職員が候補者にふんして行った模擬討論会を見て、一票を投じました。

投票後は、すぐに開票し、みんなで開票の流れを学びました。生徒たちは、選挙を体験することで、政治や選挙が身近なものとして、選挙権が18歳に引き下げられた意味を考えていました。

ようこそ、まさき町へ
 まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、12月26日から28日まで本町を訪れました。

夏にまつまえ町で交流を行っている児童たちは、5カ月ぶりの再会に大喜び。初日は、岡本町長と本馬教育長を表敬訪問した後、エミフルMASAKIでショッピングや夕食をみんなで楽しむなど、まさき町で交流を深めました。

2日目は、松山城、砥部焼き絵つけ体験をした後、バスでしまなみ海道へ。強風の中ではありませんでしたが、橋から見える瀬戸内海の景色を楽しみました。その後、タオル美術館で愛媛の特産品について学びました。

最終日は、道後を散策し、坊ちゃん列車に乗った後、お別れとなる松山空港へ。3日間、愛媛県の文化に触れ、共に関わりのない体験をして友情を深めた児童たちは、「また会いましょう」と抱き合ったり握手を交わしたりして、再会を約束していました。今年の交流事業はこれで終了となりますが、1,500キロメートル離れた児童たちの交流は、これからも続いていきます。



⑥初日の夕食交流会。再会に会話も弾む ⑦2日目の松山城見学。みんなで城下を眺める



⑧役場にて、みんなで記念撮影 ⑨砥部焼き絵つけ体験。思い思いの1枚を描く ⑩最終日松山空港。再会を誓って握手する



④美しいハーモニーを響かせる松前町第九合唱団 ⑤第1部では伊予高校吹奏楽部がリッパ作曲「幻想曲ト長調」ほか3曲を披露 ⑥力強く歌う合唱団員



歓喜の歌声 高らかに
 2016松前町第九演奏会

「2016松前町第九演奏会」は12月23日、文化センターで開かれ、小学生から80代まで約180人の松前町第九合唱団が高らかな歌声を響かせました。

この演奏会は、町内を中心とする音楽愛好者が平成21年に始めた手作りの演奏会です。伊予高校吹奏楽部の演奏に合わせ、藤岡葉子さん、國廣由佳さん、八木徹雄さん、大森いちえいさんの4人のソリストと合唱団が、歓喜の歌声を高らかに響かせました。その美しいハーモニーに、会場からは惜しみない拍手が送られました。

初めて合唱団として参加した岡本町長は、「全体練習には2回しか参加できず、夜な夜なCDを聴いて練習しました。達成感があり感動的だったので、来年も出たいです」と話していました。

1年の無火災を誓って
平成 29 年消防出初式

「平成 29 年松前町消防出初式」は 1 月 8 日、松前公園体育館で行われ、消防団員などの消防関係者約 500 人をはじめ、地域住民が参加しました。

オープニングセレモニーでは、松前町少年消防クラブ員が防火標語を掲示。「消しましょう その火 その時 その場所で」と叫び、防火を呼び掛けました。

式では、功績のあった団員を表彰。被表彰者を代表し、第 4 分団班長の山内佳広さんが「ますます消防精神にのっとり、任務の重要性を認識し、業務に精励します」とあいさつしました。

式当日はあいにくの雨模様で、団員の行進や一斉放水は中止されましたが、参加者は式を通じ、この 1 年の無火災を誓い、火災予防意識の決意を新たにしました。

表彰者は次の通りです（敬称略）。

▶知事表彰

- 第 4 分団 班長 山内 佳広
- 第 9 分団 団員 西野 裕一

▶愛媛県消防協会長表彰

- < 功績章 >
- 第 3 分団 分団長 岡田 裕二
- < 勤続章 >
- 第 3 分団 班長 向井 直樹
- 第 5 分団 団員 山本 仁
- 第 6 分団 副分団長 渡部貴志夫
- 第 6 分団 班長 新山 義文
- 第 7 分団 団員 三本 睦己
- 第 8 分団 団員 西松 晶雄
- 第 9 分団 副分団長 川本 誠
- < 規律章 >
- 第 5 分団 団員 三原 正己
- 本団 団員 武西 るみ

- < 家族内助の功労者 >
- 第 5 分団副分団長夫人 高石あゆみ
- 第 7 分団団員夫人 牧本恵利子
- 第 7 分団団員夫人 忽那 照美
- < 親子消防団員表彰 >
- 本団 団長 池内 勝彦
- 第 5 分団 班長 池内 泰介

▶纏会長感謝状

第 2 分団 宗原原班

▶町長表彰

< 個人表彰 >（消防団員歴 1 年以上）

- 第 1 分団 団員 宇治 寛彦
- 団員 住田 博則
- 団員 友澤 昌幸
- 第 2 分団 団員 玉井 厚
- 団員 篠崎 宣男
- 第 3 分団 団員 向井 佑輔
- 団員 常盤 和裕
- 第 4 分団 団員 金子 雅紀
- 団員 藤本 憲洋
- 第 5 分団 団員 西本 周正
- 団員 西村 哲哉
- 第 6 分団 団員 河添 拓真
- 団員 田崎 秀一
- 第 7 分団 団員 向井 直人
- 団員 竹田 真二
- 第 8 分団 団員 大西 夏樹
- 団員 加藤 純一
- 第 9 分団 団員 武市 好生
- 団員 烏谷 政和
- 団員 合田 礼
- 団員 岡本 真也
- 団員 吉岡 勇二

< 優良班表彰 >

（消防団活動で他の模範となる班）

- 新立班 南黒田班
- 中川原班 出作班
- 昌農内班 北川原班
- < 特別班表彰 >（第 29 回愛媛県消防操法大会出場）第 6 分団

▶日本消防協会長表彰

（平成 29 年 2 月受章者）

- < 竿頭授 > 松前町消防団
- < 功績章 >
- 本団 副団長 横山 融
- < 精績章 >
- 第 6 分団 分団長 澤田 浩徳
- < 勤続章 >
- 第 2 分団 副分団長 高木 正人
- 第 2 分団 団員 中川多計士
- 第 4 分団 団員 西村 健二
- 第 7 分団 団員 伊賀上恒英



①松前町少年消防クラブ員による防火標語掲示 ④⑤団員表彰の様子。表彰状を受け取り、決意を新たにす



新春を祝って
平成 29 年「新春年賀のつどい」

「平成 29 年新春年賀のつどい」は 1 月 4 日、文化センターで開催され、300 人以上が参加しました。

年頭のあいさつで岡本町長は、助走期間の 1 年目を経て 2 年目を迎える町政を三段跳びに例え、「今年は、昨年皆さんからいただいた声を反映させながら施策を肉付けして具体化させていく『ホップ』の年にしたい」と抱負を語りました。その後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。



⑥抽選会「もろたもろたいわれんで」。当選に喜びを語る ⑦実行委員の皆さん ⑧乾杯して、20 歳の門出を祝う



風景写真作品集を寄贈
「写真年鑑アマテラス寄贈」贈呈式

「写真年鑑アマテラス寄贈」贈呈式は 1 月 12 日、役場で行われ、アマテラスの会招待会員である稲垣優さん＝東古泉＝が、同年鑑 20 冊を町へ寄贈しました。

この年鑑は、風景写真の作品集で、第 2 巻から第 20 巻には稲垣さんが塩屋海岸で撮影した夕日の写真も収録されています。稲垣さんは「このような地元の風景があることを知ってほしいですし、自然の大切さや環境保護への関心を持ってほしい」と話していました。

アマテラスは、ふるさとライブラリーで閲覧できます。



20歳の門出を祝って
平成 29 年成人式

「平成 29 年成人式」は 1 月 8 日、文化センターで開催され、対象者 328 人のうち 259 人が出席しました。

今回の成人式のテーマは、「松前の新たな革命者」。自分たちの手で松前町を変えていきたいとの思いから実行委員が考えたものです。実行委員は、式の企画・運営にも携わり、小・中学校時代の「思い出のアルバム」の上映や抽選会「もろたもろたいわれんで」などを行いました。参加した新成人は、友人や小・中学校時代の先生と昔を懐かしみながら、20 歳の門出を祝っていました。

結びには、新成人を代表して岡田智幸さん＝西古泉＝が「感謝の気持ちを忘れず、少しでも社会に貢献できるよう頑張っていきたい」とあいさつ。松前の新たな革命者たちが、立派に大人の仲間入りを果たしました。



人権の花と心を育てよう
「人権の花運動」花の贈呈式

「人権の花運動」花の贈呈式は12月21日、岡田小学校で行われました。

この運動は、児童が育てた花を施設などに届けることで人権の輪を広げる取り組みで、今年は5年生の児童が花を育てました。式では、十河樹生^{そごう}さんと菊池結月ちゃんが「花が届けれ人権のリレーが続くことはとてもうれしいです。花を見る人が育てた人のことを思ってくれば」とあいさつ。町内の金融機関、福祉施設の関係者などに育てた花を贈りました。



㊤トークイベントの様子
㊥熱心に投球姿勢の指導をする安楽選手
㊦岩村監督の豪快なスイングに歓声上がる



三世代手作りのしめ縄が交番を飾る
岡田交番「しめ縄飾り」取り付け

岡田交番のしめ縄飾りは12月30日、西高柳、昌農内地区の子どもたちによって取り付けられました。

このしめ縄飾りは、12月17日に行われた岡田校区の寿大学で三世代が協力して作ったものです。飾り作りと取り付けの両方に参加した羽倉颯希くんは、「形を作るところは難しかったけれど、飾ることができてうれしい」とにっこり。

しめ縄は、1月14日に昌農内コミュニティ広場で行われたどんど焼きで燃やしました。



㊧交番に手作りのしめ縄飾りを飾る
㊨取り付けに参加した子どもたち



現役選手が熱心な指導
伊予鉄総合企画主催「愛媛県人会野球教室」

「プロ野球愛媛県人会」の野球教室とトークイベントは1月14日、松前公園で行われました。

今回の野球教室には、県人会からプロ野球独立リーグ福島ホープスの岩村明憲監督兼選手、東京ヤクルトスワローズの鵜久森淳志選手、東北楽天ゴールデンイーグルスの安楽智大選手が参加。球児やファン約180人が集まりました。

午前中に行われた野球教室では、岩村監督と鵜久森選手が守備練習やバッティング、安楽選手がピッチングなどを指導。3人の手取り足取りの指導にみんな真剣に耳を傾けていました。

午後から行われたトークイベントでは、野球を続ける上で大切なことについて、岩村監督は「勉強と同じようにノートをつけること」、鵜久森選手は「練習を続けること」、安楽選手は「自分で考えて行動して時間を有効に使うこと」と話すなど、自身の経験を踏まえ熱心に語っていました。